

# 災害ボランティア ハンドブック

つながる、ひろがる、ボランティア



枚方市 VC のキャラクター

社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会

枚方市ボランティアセンター

## 災害ボランティアセンター

地震、津波などの災害や、台風による風水害が発生した場合、災害ボランティアセンターを開設します。

被災者のニーズ（依頼）の把握や整理を行い、ボランティア活動を希望する個人や団体の受け入れを行います。手助けを必要としている被災者とボランティアをつなぐところです。

被災地の地域コミュニティが再構築され、整ってきたら災害ボランティアセンターは閉鎖されます。

また、災害ボランティアを対象としたボランティア活動保険の加入手続きを行います。

## ボランティアとは…

ボランティアは英語で「Volunteer」と書き、もともとは「志願する」「義勇軍・自警団」という意味で使われていました。本来はラテン語の「Volo」という言葉に由来し、「自らの意志を持って行動する」「喜んで何かをする」という意味から、人に押しつけられて行うのではなく、自分の意志ですすんで活動する人の事です。

災害ボランティアは、大災害時はもちろんのこと、小・中規模災害が発生した時に、被災地で活動を行います。

瓦礫のかたづけや、側溝の清掃。家屋の泥だし、支援物資の仕分け、炊き出しや避難所でのお手伝いなど、活動内容はさまざまです。

## 災害ボランティア活動の注意事項



### その1

災害ボランティア活動は、ボランティア自身の責任により、被災地での活動に参加して下さい。



### その2

事前に被災地の情報を収集し、活動を希望する災害ボランティアセンターに事前に連絡をして、参加方法や注意点、被災地までの移動手段、ルートの確認を行って下さい。



### その3

活動先で宿泊する場合は、事前に被災地や周辺状況を把握し、ボランティア自身で宿泊先を確保して下さい。



## その4

瓦礫であっても、家族にとっては大切な思い出の品です。家の人に確認しながら、ゴミと決めてしまわずに丁寧に扱しましょう。



## その5

被災地に迷惑がかからないように、必要な物は自分で準備をして行きます。



## その6

体調を整えて行きましょう。定期的に休憩を取り、無理な活動は控えましょう。



## その7

被災地に到着したら、現地の災害ボランティアセンターで受付・登録をおこないます。

## ボランティア活動に適した服装

- ① 帽子又は状況に応じてヘルメットが必要になります
- ② 防塵マスク
- ③ 長袖のシャツ（上着）  
暑い時期でも、長袖がおすすめです
- ④ 長ズボン  
破れやすいので、ジャージは避けた方がよいでしょう
- ⑤ 厚手のゴム手袋
- ⑥ 長ぐつ  
踏み抜き防止の中敷きがあるものがよいでしょう

\*作業内容やコンタクトを使用されている人は、ゴーグルが必要になる場合もあります。



## 災害ボランティアの必需品

- ・ 水（4L～6L）
- ・ 食料（活動日数分）
- ・ ゴム手袋
- ・ 長靴
- ・ 帽子
- ・ 防塵マスク
- ・ レインコート
- ・ 着替え
- ・ タオル
- ・ ウエットティッシュ
- ・ 健康保健所のコピー
- ・ ゴーグル（必要に応じて）
- ・ 寝袋（必要であれば）

\*行く場所、気候、日数により持って行く量を調整して下さい。



## ボランティア活動のルール



無理はせず、自分のペースで活動しましょう！



ボランティア活動は「してあげる」ものではありません。押しつけではなく、被災者の立場に立った活動を心がけましょう！



活動を通じて知り得た、個人のプライバシーや秘密は守りましょう！



災害ボランティアセンターの職員や、避難所等のスタッフの指示に従って行動して下さい！

# 枚方市ボランティアセンター

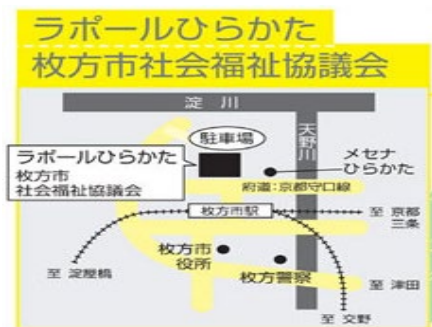
〒573-1191

大阪府枚方市新町2丁目1-35

ラポールひらかた 1階

TEL 072-841-0181

FAX 072-841-0182



発行

社会福祉法人 枚方市社会福祉協議会

枚方市ボランティアセンター